



# 十種ヶ峰だより

がみね君

今年度も「自然の家」の活動へのご理解・ご支援等ありがとうございました。さて、本号では、主催事業の報告、本年度異動する職員のあいさつ、別添で来年度のとくさがみね自然体験プログラムを掲載していますのでご覧ください。

**主催事業 とくさがみね自然体験プログラム**  
**十種ヶ峰の冬を楽しむ ① 1月19日～20日**  
**② 2月 9日～10日**

「十種ヶ峰の冬を楽しむ①」では、積雪が少なく心配しましたが9人の参加者がありました。雪を求めて山麓駐車場までの自然散策、歩くスキーやそり遊び、夜は星空観察やキャンドルの集い、2日目はバードコール等のクラフト作りを楽しみました。「十種ヶ峰の冬を楽しむ②」では、57人の参加者がありました。山麓に雪が十分にあり、グレンデスキー、歩くスキー、そり・雪遊びを2日間十分に楽しみました。



## 【感想】

- ・雪が少なかったのですが、その中でも職員の方が一生懸命にされて子ども達も楽しく研修ができました。
- ・深い雪景色の中、初めてのスキーができて良い経験になりました。
- ・雪遊びを中心に参加させていただきましたが、ジャンプ台もうまくできて、たくさんの子どもたちと遊べてよかったです。



第68号 2019.3 (季刊)

## お世話になりました

平成31年度の人事異動で次の3名が異動となります。

○事務長 角谷 晃



私は、当施設の維持管理などの業務を担当しており、直接研修団体の皆様との関わりは少なかったのですが、皆さんの思い出に残る研修が安全に行えるよう微力ながら努力してきましたつもりです。今後、ますます当施設が発展することを願っています。利用者の皆様、関係団体の皆様5年間お世話になりました。ありがとうございました。

○事務補助 金子 良江



21歳で飛び込んだ自然散策などを企画する仕事は、自分らしいと『思い込んだ』仕事でした。未練・後悔がありました。去年、過去と向き合う傷を癒すチャンスをいただきました。自然の家、利用者・職員の方々だから感じられた感覚、感謝を体験し、本当にやりたい仕事が湧き上がってきました。短い間でしたがお世話になりました。ありがとうございました。

○長期研修生 土島 亮



日常を離れた場所で支え合いながら困難を乗り越え、その中で変容し成長する子どもたちの姿を間近に見ることができた一年間でした。この経験を生かし、これからは学校現場での子どもたちのチャレンジを支えていきたいと思えます。

“自然と人を愛す”を合言葉に、職員一同、皆様のご来所を心よりお待ちしております。各プログラムの詳細は、下記HPでご覧いただけます

山口県十種ヶ峰青少年自然の家

〒759-1602 山口市阿東嘉年下1883-2

TEL: 083-958-0033 FAX: 083-958-0705

Mail: seed-10@c-able.ne.jp

HPアドレス - <http://www.c-able.ne.jp/~seed-10/>